

9月21日は世界アルツハイマーデー、 毎年9月は世界アルツハイマー月間です



認知症の理解を広げましょう

月間に合わせ9月には、世界80か国以上の国々で、認知症への偏見をなくし、理解を広げるための活動が繰り返し広がられます。

日本では、「公益社団法人認知症の人と家族の会」が中心となり関係機関と連携して、全国で認知症に関する啓発活動が行われます。今年の標語は「この街で笑顔で生きる 認知症」です。

認知症は誰もがなりうる 「脳の病気」

認知症は、さまざまな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったためにおこる「脳の病気」です。高齢者だけの病気ではありませんが、85歳以上では2人に1人、その症状があるといわれています。長寿社会となり、認知症は誰もがなりうるものと考え、なくても安心するように、みんなで備えをしていくことが大切です。

認知症と「ともに生きる」時代

日本では、令和元年に「認知症施策推進大綱」が閣議決定されました。令和7年までの取組方針で「認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って自分らしく暮らし続けられる社会をめざし、『共生』と『予防』を車の両輪として施策を推進する」と記されています。「予防」とは、「認知症にならない」という意味ではなく、「認知症になるのを

遅らせる」「認知症になっても進行を緩やかにする」という意味です。「共生」とは、認知症があっても認知症とともに生きること、また認知症のある人もない人もともに生きること示しています。

気軽ににご相談を

認知症は、とても身近なものとなってきていますが、それでも自分や家族が「認知症かな？」と思った時には、不安になり、どうしたらよいかとまどつてしまうと思います。相談は、日南町地域包括支援センターへご連絡ください。また、下記の事業も気軽にご利用ください。

映画上映会にご参加ください

9月4日(土) さつきホールで、映画「ケアニン こころに咲く花」を13時30分と17時30分の2回上映します。料金は無料です。「認知症になっても何もわからなくなるわけではない」こと、「その人や家族の歴史や思いを知り、その願いに沿った支援が大切であること」などを一緒に考える機会にしたいと思います。



普段開催している交流会・勉強会

認知症個別相談会

西伯病院精神科高田医師による個別相談です。年5回、予約制です。

介護家族の交流会

毎月第3水曜日10時～12時、総合文化センターで開催。「認知症の人と家族の会鳥取県支部」相談員を迎えて、家族の思いを語り合ったり、介護の工夫を共有したりします。

介護相談 オレンジカフェ

毎月第1水曜日10時～13時、ショッピングセンターパセオ内無料休憩所で開催。ご希望があれば各地域でも開催します。

認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解し、認知症のある人や家族に対して温かい目で見守る応援者となっただけのための講座です。ご依頼にあわせて出張講座を行います。

お問い合わせ：日南町地域包括支援センター (82-0374)

